

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21064
課題名	小児人工肛門閉鎖創に対する予防的局所陰圧閉鎖療法の有効性に関する検討
研究期間	西暦 2021年 8月 5日 ～ 2025年 3月 31日
研究の対象	2020年4月1日から2025年3月31日までの間に、旭川医科大学小児外科で人工肛門造閉鎖術を施行した症例
利用する試料・情報の種類	✓診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、病歴、治療内容、検査結果、画像診断結果、手術記録、病理検査結果など。）
研究の意義、目的	子どもの人工肛門は閉じることを前提とした一時的な人工肛門であるため、管理が簡単でトラブルが少なく、閉じた後の創が極力きれいに治る方法が良いと考えています。人工肛門の閉じた創は感染を起こしやすいことが知られています。そこで大人の領域から人工肛門を閉じる際の閉じ方の工夫に加えて、閉じた創に陰圧をかける方法を併用するやり方が、感染率の低下や整容性の向上につながったと報告され始めました。子どもの領域では、まだこの方法による報告はありません。子どもにとって創がきれいに治ることは非常に大事な点ですので、人工肛門閉鎖時の閉じ方の工夫(皮膚環状縫合法)と閉じた創に陰圧をかける方法(局所陰圧閉鎖療法)の併用法の安全性と有効性の報告が目的です。
研究の方法	2020年4月1日から2025年3月31日までの期間で、当科にて人工肛門閉鎖術を施行した症例について、主にカルテを用いた診療情報・画像情報を検討します。
その他	本研究の実施に際しては特に資金を必要としません。 本研究は企業や団体とのかかわりは無く開示すべき利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学 外科学講座血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 電話 0166-68-2494 FAX 0166-68-2499</p> <p>研究責任者： 旭川医科大学外科学講座 血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 助教 石井 大介</p>